

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市民会館及び名古屋市音楽プラザ

団体名：共立・名古屋共立共同事業体

(株式会社共立、株式会社名古屋共立)

※複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

<基本方針>

- 1・名古屋市民会館及び名古屋市音楽プラザ利用者への平等利用確保に努める。
- 2・名古屋市民会館及び名古屋市音楽プラザ利用者や来場者へのサポートにより、文化活動の活性化に寄与する。
- 3・名古屋市の中核施設として、金山地区一帯の賑わいの創出や幅広い人材育成等に取り組む。

②管理運営体制

<職員配置・養成>

- ・館長を始めとして、専門性が高く幅広い視野と管理能力に優れた職員を配置して責任体制を明確化しつつも、過度な縦割りとならないよう、横断的で柔軟な管理体制を構築する。
- ・全職員のサービスレベルの統一とホスピタリティ溢れる運営に繋げるため、各業務において、セミナー・研修を介してその方針に沿った人材育成を実施する。

<情報の保護・公開>

- ・社内研修や情報保護管理に関する規定の整備・運用により、個人情報適正に取り扱う。
- ・組織として責任体制を明確にし、万が一の漏洩に対して賠償責任を果たす。
- ・関連法令を遵守しつつ、公開に関する規定を整備・運用し、積極的に情報を公開する。

<法令遵守（コンプライアンス）>

- ・コンプライアンスに関する規定を整備・運用し、社員教育に注力しながら、社会からの信頼獲得を目指す。

<施設の平等利用に関する考え方>

- ・利用規則（ルール）の周知徹底と確実な予約手順の実施、また必要な情報の公開を行うなど、施設運営の透明性を確保し利用者の理解が得られるよう努める。
- ・窓口で対応する担当者ごとに受付手順が変わる事のないよう、施設予約受付手順書を作成し、いつでも誰でも同じ手順で施設予約の受付を確実に行う。
- ・受付業務等の作業効率を高めるため、施設予約管理システムを導入する。
- ・苦情の未然防止に努め、苦情発生時には、迅速かつ真摯な対応を徹底して関係機関に報告し、内容及び対応方法については記録化して、再発防止に努める。
- ・要望は、即時対応できるものについては、利用者サービスの一環として実施し、即時対応

できないものは、集計・分析・検討の上、名古屋市へ報告・相談する。

＜災害時の危機管理体制及び事故発生時の対応方針＞

- ・利用者、来場者の安全確保を最優先として訓練等を実施し、いざという時にも迅速に行動できる体制を構築する。
- ・各職員は予め定められた役割分担に従い、館内の被災状況、火災発生の有無、施設利用者の安否を確認し、避難誘導、関係各所への通報連絡を行う。
- ・怪我等の人身事故が発生した場合、その場に居合わせた、又は第一報を受けた職員が館長へ報告し、名古屋市や関係各署へ連絡をする。

(2) 実施業務の計画について

①指定管理業務

＜一般の施設利用に供する業務＞

- ・情報提供業務、問合せ・要望・苦情等対応業務、利用打合せ業務、舞台業務、市民会館及び音楽プラザ貸出業務、利用者満足度調査業務、利用促進業務、相談業務、支援業務、フリースペースの活用、音楽プラザ音楽サロンの活用、駐車場の管理業務 等

＜施設維持管理業務＞

- ・利用者の目線に立ち、安全かつ使いやすさや快適性に配慮した維持管理・安全管理業務を遂行する。
- ・全職員が緊急事態は必ず発生するとの認識を持ち、緊急時を想定した役割分担や連絡体制を維持して、利用者の安全確保や設備の補修対応等を行う。
- ・関係法令等の定めに基づく有資格者及び知識や経験豊富な職員を配置し、安全確保・事故の未然防止に努める。
- ・共同事業体として、万一の事態に備え、各種保険に加入する。

＜芸術文化活動に関する相談体制＞

- ・必要資格を取得した相談員を配置し、施設の情報（概要等）や専門的な相談、事業実施に関するあらゆる相談、利用計画に寄与する事業者や事業の紹介、地域的な相談のほか全国的な相談にも、ネットワークを活かして対応する。

＜芸術文化活動に関する支援＞

- ・ホール利用者に対して、事前打ち合わせを的確に行い、サポートする。
- ・施設利用に関するアドバイスや類似施設の紹介など、来館者に対して、利用計画の各段階に合わせた支援を行う。
- ・次世代の育成を始めとした各種事業を実施し、地域文化団体やイベンター等と相互に協力して、芸術文化活動のためのサポートを実施する。

＜舞台芸術公演の誘致＞

- ・舞台芸術業界の動向等を分析し、公演誘致の方策を効果的にプロモーター等へ働きかける。
- ・日本全国を網羅する共立グループのネットワークにより、早い段階での情報収集と誘致活動を連携して実施する。

<フリースペースの活用>

- ・季節に応じた飾り付け等の雰囲気作りや、絵画・写真等による企画展示を実施する。
- ・ホール催事に関連したPRについて、市民会館広場の利用促進を実施する。
- ・音楽プラザのサロンにおいて、サロンコンサートを実施するほか、情報コーナーを充実させ、サロン内で鑑賞できる体制を整える。

<周辺一帯の賑わい創出事業>

- ・金山地区の地域特性と総合計画などで示される目指す方向性を前提とし、金山地区一帯の賑わい創出に寄与する為、事業展開をする。
- ・金山夏祭りへの協力等、地域イベントに寄与するほか、アスナル金山を始めとした、地域の主要施設との連動企画やそこでのイベントにアーティストをコーディネートする等の取組により、賑わいづくりに努める。

<幅広い領域の人材育成>

- ・名古屋市の実情に合わせたアートマネジメント講座や舞台技術講座によって、専門的な人材の養成・確保を行う。
- ・市内学生向けにインターンシップや職業体験を実施するほか、子ども向けのワークショップを開催し、学生の将来や子どもたちへ芸術文化に触れあう喜びを見出すきっかけを作る。

<サービス向上策>

- ・市民が誇れる施設作りを目指し、スタッフ一人一人が接遇や清掃美化を意識したホスピタリティあふれる対応に努める。
- ・アンケート調査等により利用者の要望を把握し、新規サービスの導入や管理運営の是正等について戦略的な取組を実施する。
- ・名フィル、市内及び近郊の大学、定期利用団体へヒアリングの上、音楽プラザに対するニーズを把握し、検討の上サービスへ反映させる。

<利用促進策>

- ・全国展開の事業に対しては、当団体の本社営業が、東京または中部地区のプロモーター等へ施設の利用を告知する。
- ・定期的な人気公演の公演回数増加をめざし、主催者へ次回利用の呼びかけを行う。
- ・ワンストップサービスやチケット販売サービス、近隣の情報提供等により、利用者の利便性向上に努める。
- ・ホール・市民広場の利用体系を提示することにより、利用促進のための情報提供に努める。
- ・操作業務等、催事進行の技術的支援を行い、事故が発生しないよう努める。
- ・催事や活動内容等の広報を充実させ、主催者に向けたオーディエンス確保のお手伝い、来館者に向けた各種サービスの充実により、施設への来館者を増加させる。
- ・音楽プラザにおいては、各種団体に利用を呼びかけるほか、各種サービスや施設予約管理システムの導入により、利用者の利便性向上を図る。

②自主事業（実施している場合）

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

<各年度の提案総額> (単位：千円)

年 度	金 額
平成28年度	187,292
平成29年度	195,589
平成30年度	198,384
平成31年度	197,444
平成32年度	196,469
合 計	975,178

<期間を通じた収支計画（指定期間を通じた項目別内訳）>

【収入】

(単位：千円)

費 目	内 容	金 額
指定管理料	名古屋市からの指定管理料	975,178
利用料金収入	ホール・会議室・附属設備等	1,598,370
その他収入	主催事業収入、自動販売機収入等	25,850
収 入 計		2,599,398

【支出】

(単位：千円)

費 目	内 容	金 額
人件費	職員人件費等	1,011,389
光熱水費	電気、ガス、水道料金	637,872
事務費	消耗品、通信費、印刷費等	126,569
管理費	修繕費、委託料等	757,174
その他経費	主催事業経費、保険料、租税公課費等	66,394
支 出 計		2,599,398

<利用料金の設定>

1. 施設の利用料金

利用料金の基準額を適用する。

2. 附属設備の利用料金

利用料金の基準額を適用する。

3. 利用料金の納期

即日納付を原則とするが、銀行振り込みによる利用申請から一定期日以内の支払い等について、統一したルールのもとで対応する。